



## ウガンダのムベンデ県にて の栽培拡大と環境教育による環境保全事業

活動報告：生徒約300名対象の環境教育・環境保全の啓発キャンペーン

日付：2017年7月3日～31日

### 序論

地球環境基金の助成やGBNの支援を受け、SORAKは初等学校16校の生徒たちを対象に環境保全の様々な方法を伝授し、環境教育や環境保全啓発キャンペーンを行った。

### トレーニングの目的

キャンペーンを通して生徒たちにレモングラスの栽培方法や環境保全の様々な方法を理解させること

### 参加者

本事業地にある初等学校・中学校に通う9歳～20歳までの生徒4800名がキャンペーンに参加した。実施した学校名と参加人数は以下である。

番号	日付	学校名	参加した生徒数
1	2017/7/3	Kabowa primary school	312
2	2017/7/5	Nakawala primary school	302
3	2017/7/7	Mubende parents high school	300
4	2017/7/13	Kyato primary school	302
5	2017/7/14	Kikandwa Umea primary school	272
6	2017/7/14	Bweyongedde primary school	301
7	2017/7/17	Nkokonjeru primary school	300
8	2017/7/17	Lwawuna primary school	304
9	2017/7/18	Kamusenene primary school	301
10	2017/7/18	Lwangiri primary school	300
11	2017/7/19	Kasambya secondary school	300
12	2017/7/20	St. Benedict secondary school	306
13	2017/7/24	Katugo primary school	300
14	2017/7/26	Kibalinga primary school	300

15	2017/7/29	Seed secondary school	300
16	2017/7/31	Nakatete primary school	300

#### ファシリテーター

本キャンペーンを実施した担当者および各役割は以下である。

1. 各学校の教員代表：全体のとりまとめと各学校の環境保全における方針の説明をした。
2. Muhammad Kyeyune - SORAK Development Agency (SORAK) 代表：現地 NGO 団体 SORAK の団体紹介と、ムベンデ県における環境改善に向けたプロジェクト、地球環境基金からの支援や環境保全局との連携について簡潔に述べた。
3. Nnakiruuta Hadijah -SORAK プログラムのプロジェクトマネージャー：レモングラスの使用法とその重要性について生徒たちに教育する役割を担った。

#### キャンペーンの内容

1. 環境保全に関する各学校の方針の提示
2. 生徒たち自身の担う環境保全の役割
3. 環境保護における生徒たちの能力構築（キャパシティビルディング）と環境保全への生徒たちの関与の重要性
4. レモングラス栽培が環境悪化を食い止めるのに良い施策であること

#### トレーニングとディスカッション

全校の教員代表により、環境を保全するための様々な方法、ほとんどは校内（グラウンドや学校敷地や周囲）での植林活動を推奨し、また環境保全の最も効果的な方法とする野焼きの防止等について話し合った。



SORAK スタッフが、どうすれば最も効果的に環境保全につながる  
レモングラス栽培を行えるか生徒たちと議論する様子



Kyato 小学校の生徒たちが環境教育及び環境保全の啓発キャンペーンにて集中して聞き入っている様子

レモングラスは環境保全を促進すること、また SORAK が実施しているレモングラス栽培事業について生徒たちに説明した。レモングラス栽培は環境保全になるだけでなく、学校教材や制服などの基本的な需要を満たす資金調達にもなるので、生徒たちには両親に今回学んだ情報を伝え、レモングラス栽培を奨励するように促した。



SORAK が質疑応答を通して、環境保全についての徹底的な議論を行い、生徒たち自らで考えさせている様子

生徒たちは以下のレモングラスの活用と効果を教わった

＜レモングラス＞

- 畝に植えられたとき、レモングラスはコーヒーやバナナ農園の水の流出を効果的に管理できる。
- レモングラスの強く、さわやかな香りはストレス、神経の疲労、頭痛及び時差ボケに関する症状を緩和する。
- レモングラスは精神安定作用があり、ストレスや不眠症を緩和する。
- 唐辛子を混ぜ合わせることで吐き気及び月経を緩和する。
- 紅茶として摂取すると、利尿効果がある。

＜使用済みのレモングラス＞

- 糖蜜と混ぜ合わせた使用済みのレモングラスは飼料として、また肥料としても使用できる。
- 使用済みレモングラスを燃焼させ炭粉とすれば、ブリケット炭の生産に活用できる

＜レモングラスエッセンシャルオイル＞

- 体全体の健康増進として作用し、病気から回復しているとき必要となる副交感神経系を強化、また腺分泌物の活性化にも役立つ。
- 細胞組織や筋肉の調子を整え、筋肉をより柔軟にすることによって筋肉の痛みを緩和することができる。
- 血液循環の改善及び防虫剤として作用する。
- ニキビ治療および余分な油分を肌から取り除く。またアスリートの足の治療として過度の汗を止める作用を持つ。
- 発熱、喉頭炎、咽喉炎等の呼吸器感染症の治療に適し、病気の感染拡大も防ぐ
- 胃腸炎、消化不良及び大腸炎の治療、加えてペットのしらみやダニ及びノミの治療にも用いられる。

## トレーニング結果/成果

1. キャンペーンは首尾よく行われ、SORAK・学校教員代表及び生徒たちがどのように環境保全を実施するかを議論する機会となった。
2. 教員は、ムベンデ地方において警鐘の鳴り響く環境悪化の危機に対してこのようなキャンペーンが長年求められてきたことに言及し、また環境保全の役割及びレモングラス栽培の重要性を教室内に掲示することを誓った。
3. 生徒たちは環境保全の施策としてのレモングラス栽培の重要性に気づき、環境教育・キャンペーンにとっても満足していた。

## キャンペーンを通して学んだことの教訓

全学校の生徒たちはレモングラス栽培に関する環境保全について多くの質問をし、キャンペーン実施中に即座に回答した。

尋ねられた質問の中で最も多かったものは以下である



- レモングラスとは何ですか？
- どのようにレモングラス栽培が環境悪化を抑制するのでしょうか？



SORAK スタッフが、どのように環境保全に役立つレモングラス栽培を不毛な土地に活用することができるのかを説明している様子

Kabowa 小学校の生徒である Kalungi Joyce さんの言葉を引用

“両親と向き合い、授業で聞いたことを話し、環境を守るため、そして学校での昼食を払ってもらうため、レモングラス栽培をしてもらいます！”

生徒 Namusoke Brenda さんの言葉を引用

“レモングラス栽培が環境を守るだけでなく、両親が私の学校教材や制服を買うことができるようになるなんて知らなかったからこの授業を受けて本当に驚いた！”

以上より、環境教育・環境保全啓発のキャンペーンは、生徒たちに環境における問題を伝え、教育することのできる重要な活動であることが分かった。

以上